

南海(なんかい)トラフに ついて



①南海(なんかい)トラフ地震(じしん)とは??

南海(なんかい)トラフ地震(じしん)は、駿河湾(するがわん)から四国沖(しこくおき)までのプレートの境目(さかいめ)で起こる大きな地震(じしん)で、過去(かこ)にたくさんの被害(ひがい)を出してきました。100～150年ごとに大きな地震(じしん)が起(お)こることがわかっている、1707年の宝永地震(ほうえいじしん)では広(ひろ)い範囲(はんい)で同時(どうじ)に地震(じしん)が起(お)こったり、時間(じかん)をおいて大(おお)きな地震(じしん)が続(つづ)けて発生(はっせい)したことがあります。研究(けんきゅう)によると、今後(こんご)30年(ねん)以内(いない)にマグニチュード8～9の地震(じしん)が起(お)こる確率(かくりつ)は70～80%とされています。このような状況(じょうきょう)の中で、南海(なんかい)トラフ沿(ぞ)いの地域(ちいき)では、大(おお)きな地震(じしん)や津波(つなみ)に備(そ)えた対策(たいさく)が進(すす)められています。国(くに)の予測(よそく)では、津波(つなみ)による死者(ししゃ)が22万人(まんにん)を超(こ)える可能性(かのうせい)もありますが、地震(じしん)の後(あと)すぐに避難(ひなん)する人(ひと)が増(ふ)えたり、津波(つなみ)の情報(じょうほう)がしっかり伝(つた)われれば、被害(ひがい)を減(へ)らすことができると考(かんが)えられています。自分(じぶん)の命(いのち)を守(まも)るために、日頃(ひごろ)から避難(ひなん)の準備(じゅんび)をしておくことが大切(たいせつ)です。

②南海(なんかい)トラフ地震臨時情報(じしんりんじじょうほう)とは？

南海(なんかい)トラフでは、昔(むかし)に大(おお)きな地震(じしん)が続(つづ)けて起(お)こったことがあります。たとえば、1854年(ねん)には2つの地震(じしん)が約(やく)32時間後(じかんご)に、また1940年代(ねんだい)には約(やく)2年間(ねんかん)の間隔(かんかく)で大地震(だいじしん)が起(お)きました。今後(こんご)も同(おな)じようなことが起(お)こるかもしれないので、南海(なんかい)トラフで異常(いじょう)が見(み)つかったり、大(おお)きな地震(じしん)が起(お)こる可能性(かのうせい)が高(たか)くなったりしたときには、気象庁(きしょうちょう)が「南海(なんかい)トラフ臨時情報(りんじじょうほう)」を発表(はっぴょう)します。

③どのように発表(はっぴょう)されるの??

気象庁(きしょうちょう)がマグニチュード6.8以上(いじょう)の大(おお)きな地震(じしん)などを観測(かんそく)したあと、5～30分後(ふんご)に「南海(なんかい)トラフ臨時情報(りんじじょうほう)【調査中】(ちょうさちゅう)」が発表(はっぴょう)されます。その後(あと)、専門家(せんもんか)が集(あつ)まって調(しら)べた結果(けっか)に基(もと)づいて情報(じょうほう)が発表(はっぴょう)されます。この情報(じょうほう)は、テレビやラジオ、インターネットなどで知(し)ることができます。※広島県(ひろしまけん)で揺(ゆ)れを感(かん)じなくても、この情報(じょうほう)が発表(はっぴょう)されることがあります。

④「南海トラフ臨時情報(りんじじょうほう)について」

南海(なんかい)トラフ地震(じしん)をはじめ、地震(じしん)は「いつ」「どこで」発生(はっせい)するかわかりません。

〈日(ひ)ごろからのそなえ〉

・大(おお)きな地震(じしん)が起(お)こる可能性(かのうせい)がまだあるので、いつも避難場所(ひなんばしょ)や避難(ひなん)する道(みち)を確認(かくにん)したり、非常(ひじょう)持ち出し品(もちだしひん)や水(みず)・食べ物(たべもの)などを準備(じゅんび)したりして、地震(じしん)に備(そな)えることが大切(たいせつ)です。

〈地震(じしん)が発生(はっせい)したら〉

・もし地震(じしん)が起(お)こったら、体を低(ひ)くして机(つくえ)の下(した)に隠(かく)れて、体(てい)や頭(かぶ)を守(まも)りましょう。揺(ゆ)れが止(と)まるまでじっとしててください。揺(ゆ)れが止(と)まったら、火(ひ)が出ていないか確認(かくにん)しましょう。

・もし津波警報(つなみけいこく)や注意報(ちゅういほう)が出(で)たら、海(うみ)から離(はな)れて、もっと安全(あんぜん)な場所(ばしょ)に避難(ひなん)しましょう。

⑤南海(なんかい)トラフの想定震度(そうていしんど)

広島県(ひろしまけん)では、南海(なんかい)トラフの大きな地震(じしん)が起(お)こると、多(おお)くの市(し)や町(まち)で震度6弱(しんど6じゃく)から6強(ろくきょう)の強(つよい)揺(ゆ)れが予想(よそく)されています。立(た)っているのが難(むずか)しくなり、固定(こてい)していない家具(かぐ)が動(うご)いてしまうなど、大変(たいへん)な状況(じょうきょう)になると考(かんが)えられています。

⑥日本で一番(いちばん)おおきかった地震(じしん)は？

「東日本大震災(ひがしにほんだいいしんさい)」は、2011年(ねん)3月(がつ)11日(にち)にマグニチュード9.0のとても大(おお)きな地震(じしん)が起(お)きた災害(さいがい)です。この地震(じしん)では、2万(まん)2200人以上(にんいじょう)の人(ひと)が亡(な)くなったり行方不明(ゆくえふめい)になったりしました。東京電力福島第一原子力発電所(とうきょうでんりょくふくしまだいいちげんしりょくはつでんしょ)での事故(じこ)もありました。日本(にほん)で一番(いちばん)大きな地震(じしん)で、震度(しんど)7の強(つよい)い揺(ゆ)れがありました。また、北海道(ほっかいどう)、東北(とうほく)、関東(かんとう)の沿岸(かいがん)を大きな津波(つなみ)が襲(おそ)いました。

⑦防災(ぼうさい)バックにいれると良(よ)いもの

- 飲料水(いんりょうすい) 災害(さいがい)が発生(はっせい)すれば水道(すいどう)などのライフラインは簡単(かんたん)にストップしてしまいます。
- 保存食(ほぞんしょく) 飲料水(いんりょうすい)と同様(どうよう)、活動(かつどう)するために欠(か)かせないものが食事(しょくじ)。
- 防寒具(ぼうかんぎ)・アルミブランケット
- ラジオ・ライト
- 軍手(ぐんて)
- スリッパ・靴(くつ)
- ガムテープ
- ろうそく&マッチ
- 救急(きゅうきゅう)セット
- 簡易(かんい)トイレ



終わり